

阪南市埋蔵文化財報告 42

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XXV

2008年
阪南市教育委員会

はしがき

本書は平成19年に阪南市教育委員会が個人住宅などの建設工事に先立って、国庫補助事業として実施した発掘調査の報告です。こうした調査は毎年実施していますが、平成19年には11遺跡、24地点での調査を行いました。例年のことですが、ほとんど数㎡の小規模な調査となっています。

このうち、向出遺跡では比較的まとまった範囲での調査が行われ、中世期の瓦器、蜻蛉壺、土錘などの遺物が確認されました。市域の内陸部に位置する向出遺跡で蜻蛉壺が確認されたことは、いくつかの疑問を呈することとなりました。

阪南市教育委員会が独自で埋蔵文化財の調査を行うようになり、約20年が経過しました。この間、こうした小規模な調査の積み重ねにより、資料やデータが蓄積され、次の大規模な調査につながっています。

今後も、こうした地道な調査を繰り返し実施することが、地域の歴史、文化を知ることにつながることを考えています。

最後になりましたが、調査にご協力をいただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。

2008年3月

阪南市教育委員会
教育長 川村 一郎



第1図 阪南市位置図

例 言

1. 本書は阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課が平成19年度国庫補助事業として計画実施した、阪南市埋蔵文化財発掘調査概要報告書である。
2. 調査は阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課三好義三、田中早苗、上野 仁、横澤 慈(平成18年度囑託)、田之上裕子(平成19年度囑託)を担当として、2007年1月から12月にかけて実施した。
3. 本書内で示した標高はT. P.である。
4. 調査にあたっては土地の所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
5. 本書の執筆、編集は上記の調査担当者が行った。また、発掘調査、整理作業は下記の調査従事者による。
6. 本書における記録は実測図、写真、カラスライドなどに保存されている。当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

根無吉隆、南竹千代、大家 嵩、和田旬世、井上祥子、井上 進、島田万帆

目 次

第1章 調査の成果

第1節 尾崎清水遺跡	(1) 07-1区	1
第2節 向出遺跡	(1) 07-2区	2
	(2) 07-3区	3
	(3) 07-5区	
	(4) 07-6区	4
	(5) 07-7区	5
	(6) 07-8区	
	(7) 07-9区	6
第3節 波有手遺跡	(1) 07-1区	7
第4節 鳥取南遺跡	(1) 07-1区	8
第5節 神光寺(蓮池)遺跡	(1) 07-2区	9
	(2) 07-3区	
	(3) 07-4区	10
	(4) 07-5区	11
	(5) 07-9区	12
第6節 井関遺跡	(1) 07-1区	13
第7節 自然田遺跡	(1) 06-8区	14
	(2) 07-1区	
第8節 貝掛遺跡	(1) 07-1区	16
第9節 箱作今池遺跡	(1) 07-1区	17
第10節 箱作西遺跡	(1) 06-2区	18
第11節 田山遺跡	(1) 06-3区	19
	(2) 07-1区	27
	(3) 07-2区	

報告書抄録

29

第1章 調査の成果

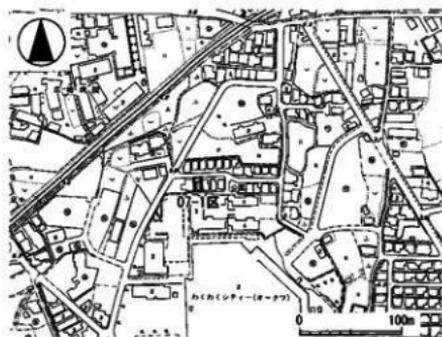
第1節 尾崎清水遺跡

(1) 07-1区 (第3~5図)

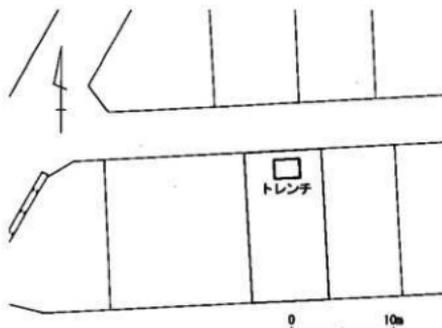
調査区は尾崎清水遺跡の南部に位置する。調査は調査区内に2.5m×2.0mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層濃茶色礫混土、第4層淡黄茶色礫混砂質土、第5層淡褐茶色礫混土の地山である。

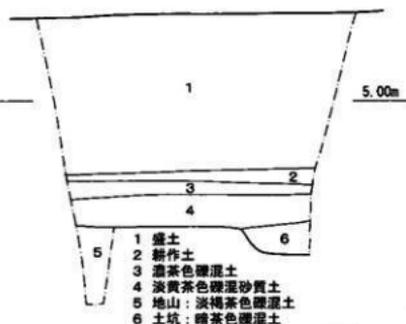
遺構はトレンチ北東部の地山面で土坑の一部を検出した。直径0.60m以上、深さ0.25mを測り、埋土は暗茶色礫混土である。遺物は含まれていなかったため、時期は不明である。遺物は第3層から陶器、磁器が出土したが、図示できるものはなかった。



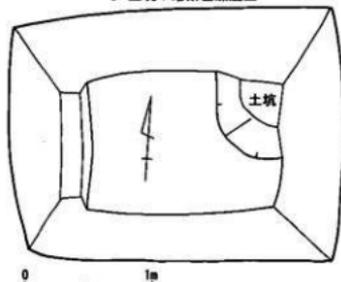
第3図 尾崎清水遺跡調査区位置図



第4図 尾崎清水遺跡07-1区 トレンチ位置図



- 1 盛土
- 2 耕作土
- 3 濃茶色礫混土
- 4 淡黄茶色礫混砂質土
- 5 地山：淡褐茶色礫混土
- 6 土坑：暗茶色礫混土



第5図 尾崎清水遺跡07-1区 トレンチ平面図・断面図

第2節 向出遺跡

(1) 07-2区 (第6~9図)

調査区は本遺跡の北部に位置する。後述の07-3・5~8区と同じ開発地に位置する。

調査は2.0m×1.5mのトレンチを設定し行った。

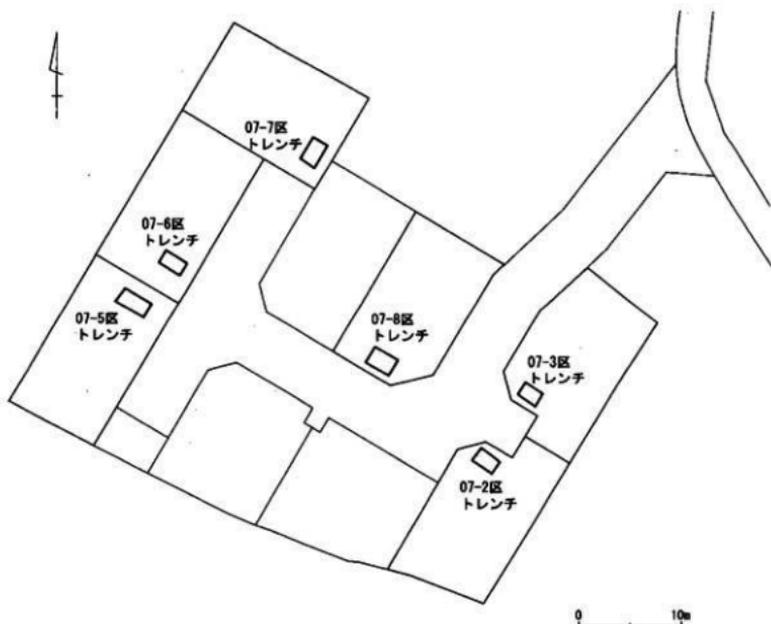
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第4層灰黄茶色土、第5層暗茶黒色礫混土、第6層暗黄褐色土混礫の地山である。第3~5層の各層から土師質土器、瓦器などの中世期の遺物が出土した。

1~4は瓦器小皿で第3層、5は瓦器碗で第4層、6は瓦器碗、7は瓦器小皿、8は土師質小皿で第5層から出土した。

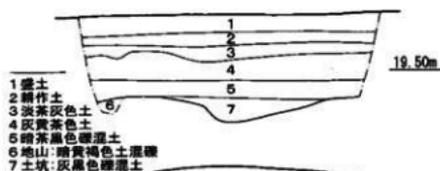
遺構は地山面で土坑1基を検出した。長径1.40m、短径0.70m以上、深さ0.20mを測る。埋土は灰黒色礫混土で遺物は瓦器、土師質土器が出土した。9は瓦器碗、10は土師質蛸壺である。中世期の遺構と思われる。



第6図 向出遺跡調査区位置図

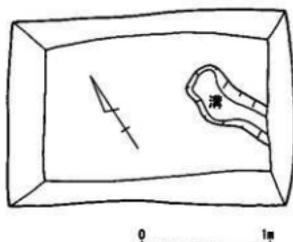
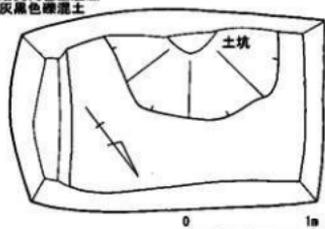


第7図 向出遺跡07-2区・07-3区・07-5区・07-6区・07-7区・07-8区 トレンチ位置図



- | | |
|---------|--------------|
| 1 盛土 | 5 暗茶黒色礫混土 |
| 2 耕作土 | 6 地山：暗黄褐色土混礫 |
| 3 淡茶灰色土 | 7 溝：濃茶黒色礫混土 |
| 4 灰黄茶色土 | |

- 1 盛土
2 耕作土
3 淡茶灰色土
4 灰黄茶色土
5 暗茶黒色礫混土
6 地山：暗黄褐色土混礫
7 土坑：灰黒色礫混土



第8図 向出遺跡07-2区 トレンチ平面図・断面図

第10図 向出遺跡07-3区 トレンチ平面図・断面図

(2) 07-3区 (第6・7・10・11図)

調査は2.1m×1.5mのトレンチを設定し行った。

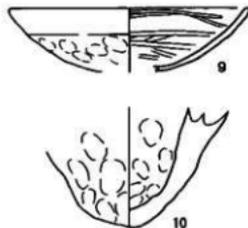
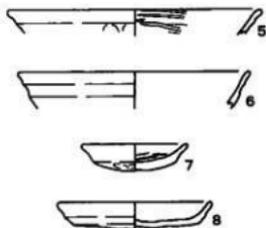
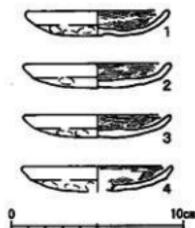
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第4層灰黄茶色土、第5層暗茶黒色礫混土、第6層暗黄褐色土混礫の地山である。第3～5層の各層から土師質土器、瓦器などの中世期の遺物が出土した。その他に弥生土器や古墳時代の製塩土器も混じっているため、近隣にその時代の遺構の存在が示唆される。1～6は瓦器碗、7～10は土師質土器で、7はいわゆる白土器の皿、8～10は小皿。11・12は真蛸壺である。1は第4層から、2～12は第5層から出土した。

遺構はトレンチ西部の地山面で長さ0.82m以上、幅0.35m、深さ0.10mの溝1条を検出した。埋土は濃茶黒色礫混土で遺物は須恵器、土師質土器が出土した。中世期の遺構と思われる。

(3) 07-5区 (第6・7・12図)

調査は2.2m×1.7mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第5層暗茶黒色礫混土、第6層暗黄褐色土混礫の地山である。前述の07-2・3区で見られた第4層灰黄茶色土は存在しなかった。遺物は第3層から須恵器、土師質土器、瓦質土器、第5層から土師質土器が出土した。中世期の包含層である。



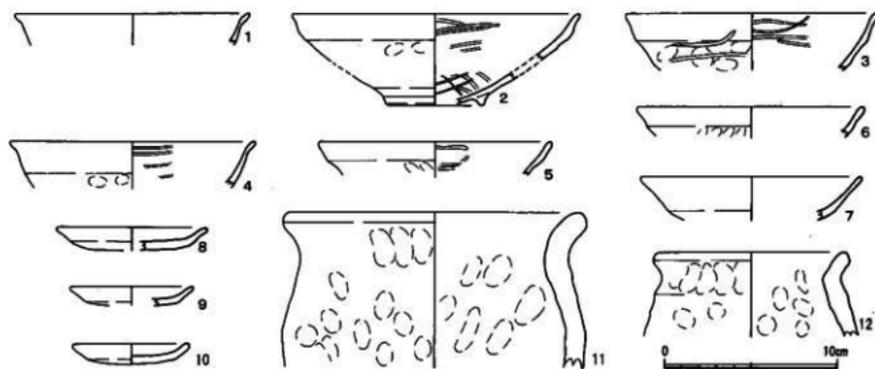
第9図 向出遺跡07-2区 出土遺物

遺構は第5層上面で土坑とピットを各1基検出した。土坑は円形を呈しており、直径0.90m、深さ0.26mを測るが、一部はトレンチ外にかかるため、詳細は不明である。埋土は濃茶黒色土で、遺物は土師質土器が出土した。ピットは直径0.40m、深さ0.10mを測り、埋土は茶黒色礫混土で遺物は土師質土器が出土した。いずれも中世期の遺構と考えられる。図示できる遺物はなかった。

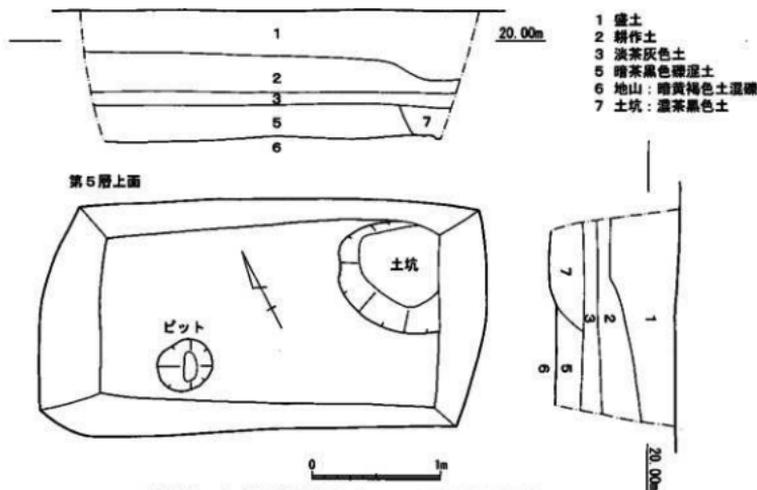
(4) 07-6区 (第6・7・13・14図)

調査は調査区内に2.4m×1.4mのトレンチを設定し行なった。

基本層序は07-5区と同じで、第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第5層



第11図 向出遺跡07-3区 出土遺物



第12図 向出遺跡07-5区 トレンチ平面図・断面図

暗茶黒色礫混土、第6層暗黄褐色土混礫の地山である。第3・5層から中世期の遺物が出土しているが、須恵器、土師器、製塩土器など奈良時代の遺物も数点見られる。1・2は須恵器杯身、3は土師器皿、4・5は製塩土器、6は土師質管状土錘である。全て第5層から出土した。

遺構は検出されなかった。

(5) 07-7区 (第6・7・15図)

調査は2.5m×1.7mのトレンチを設定し行った。

基本層序は07-5・6区と同じで第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡茶灰色土、第5層暗茶黒色礫混土、第6層暗黄褐色土混礫の地山である。第3・5層から中世期の遺物が出土している。サヌカイト、須恵器も若干混じていたが、図示できるものはなかった。中世期の包含層である。

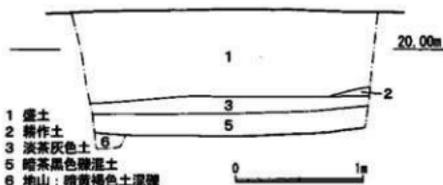
遺構は検出されなかった。

(6) 07-8区 (第6・7・16・17図)

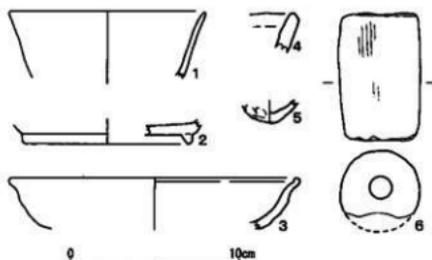
調査は2.7m×1.8mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第3層淡茶灰色土、第5層暗茶黒色礫混土、第6層暗灰茶黄色土の地山である。遺物は第3層からサヌカイト、須恵器、土師器、土師質土器、瓦質土器、第5層から土師器、土師質土器が出土した。1はサヌカイト石鎌、2は須恵器壺、3は土師器杯で第3層から出土した。周辺調査から第3・5層は中世期の包含層である。

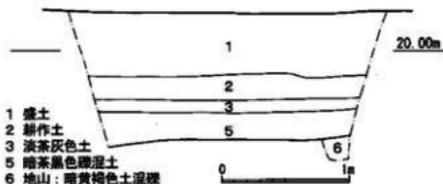
遺構はいずれの面でも検出されなかった。



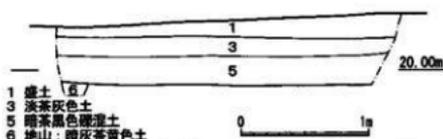
第13図 向出遺跡07-6区 トレンチ南側断面図



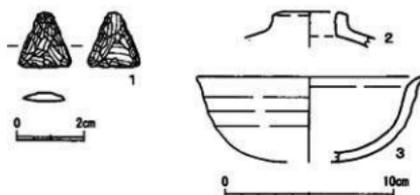
第14図 向出遺跡07-6区 出土遺物



第15図 向出遺跡07-7区 トレンチ西側断面図



第16図 向出遺跡07-8区 トレンチ南側断面図



第17図 向出遺跡07-8区 出土遺物

(7)07-9区 (第6・7・18・19図)

調査区は向出遺跡の北部に位置する。

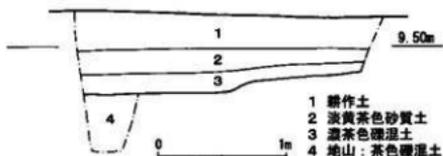
調査は調査区内に2.4m×1.5mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層耕作土、第2層淡黄茶色砂質土、第3層濃茶色礫混土、第4層茶色礫混土の地山である。遺物は第2層から磁器、第3層から土師質土器が出土した。いずれも小片のため図示できなかった。

遺構は検出されなかった。



第18図 向出遺跡07-9区 トレンチ位置図



第19図 向出遺跡07-9区 トレンチ南側断面図

第3節 波有手遺跡

(1) 07-1区 (第20~22図)

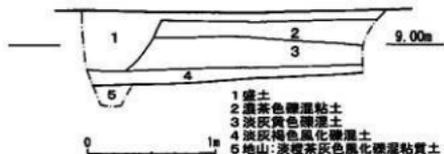
調査区は波有手遺跡の北端部に位置する。

調査は調査区内に2.4m×1.2mのトレンチを設定し行った。

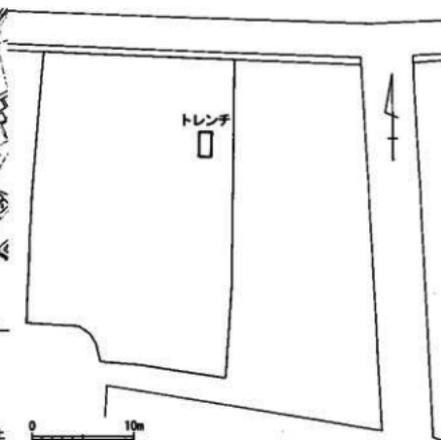
基本層序は第1層盛土、第2層濃茶色礫混粘土、第3層淡灰黄色礫混土、第4層淡灰褐色風化礫混土、第5層淡橙茶灰色風化礫混粘質土の地山である。いずれの層からも遺物は出土せず、遺構も検出されなかった。



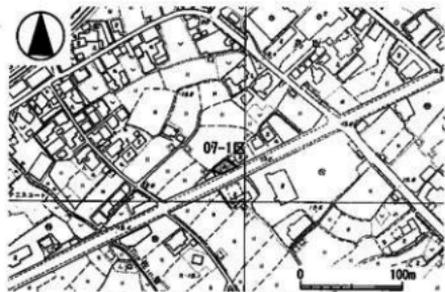
第20図 波有手遺跡調査区位置図



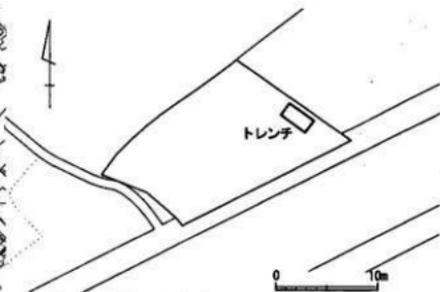
第22図 波有手遺跡07-1区 トレンチ東側断面図



第21図 波有手遺跡07-1区 トレンチ位置図



第23図 鳥取南遺跡調査区位置図



第24図 鳥取南遺跡07-1区 トレンチ位置図

第4節 鳥取南遺跡

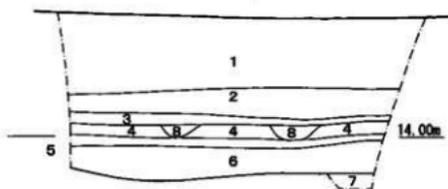
(1) 07-1区 (第23~26図)

調査区は鳥取南遺跡の東部に位置する。

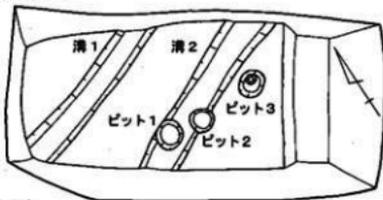
調査は3.0m×1.5mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層褐灰色粘質シルト、第4層黄灰色粘質土、第5層茶灰色細砂混粘質土、第6層暗茶灰色細砂混粘質土、第7層茶灰色粘質土の地山である。第5・6層は河川による堆積層と推定される。第2～4層から瓦器などの中世期を中心とした遺物が、第5層から土師器、須恵器、製塩土器、黒色土器が出土したことから、第5層は中世期以前の包含層と思われる。1～3は須恵器蓋杯、4は土師器杯である。第5層から出土した。

遺構は第4層上面で並行する溝2条とピット3基を検出した。溝は幅0.30m前後、深さ0.10mを測り、埋土はどちらも炭化物混じりの褐灰色粘質シルトである。いずれからも土師器、製塩土器などの奈良時代の遺物が出土したが、第4層が中世期の包含層のため、その時期をさかのぼらない。ピットは、いずれも直径約0.20m、深さ0.04mを測り、埋土は炭化物混じりの淡褐灰色粘質シルトで、遺物はピット3から土師質土器が出土した。

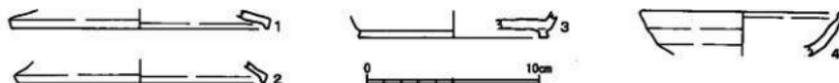


第4層上面



- 1 盛土
- 2 耕作土
- 3 褐灰色粘質シルト
- 4 黄灰色粘質土
- 5 茶灰色細砂混粘質土
- 6 暗茶灰色細砂混粘質土
- 7 地山: 茶灰色粘質土
- 8 溝: 褐灰色粘質シルト(炭化物混)

第25図 鳥取南遺跡07-1区 平面図・断面図



第26図 鳥取南遺跡07-1区 出土遺物

第5節 神光寺(蓮池)遺跡
(1) 07-2区 (第27~29図)

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の東部に位置する。

2005年度から同じ開発地内での調査が行われており、中世期の遺物包含層との遺構が確認されている。今回の調査は調査区内に2.5m×1.5mのトレンチを設定し行った。また、後述する07-3区と隣接する。

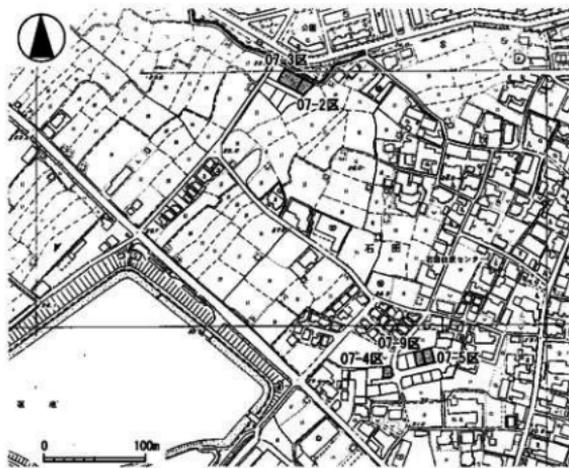
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第5層濃茶灰色土である。遺物は第3層から土師質土器、瓦質土器、第4層から土師質土器が出土したが、図示できるものはなかった。

遺構は検出されなかった。

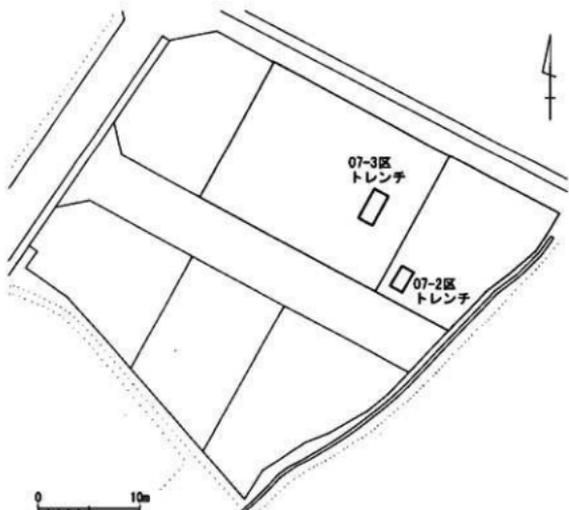
(2) 07-3区
(第27・28・30図)

調査は調査区内に3.2m×1.7mのトレンチを設定し行った。

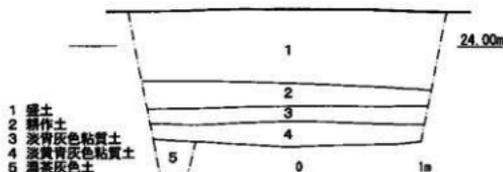
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡青灰色粘質土、第4層淡黄青灰色粘質土、第5層濃茶灰色土、第6層淡灰茶黒色礫混粘質土、第7層暗茶色礫混粘質土の地山である。第3~5層から土師質土器、瓦器などの中世期



第27図 神光寺(蓮池)遺跡調査区位置図



第28図 神光寺(蓮池)遺跡07-2区-07-3区 トレンチ位置図



第29図 神光寺(蓮池)遺跡07-2区 トレンチ西側断面図

の遺物が出土したが、図示できるものはなかった。

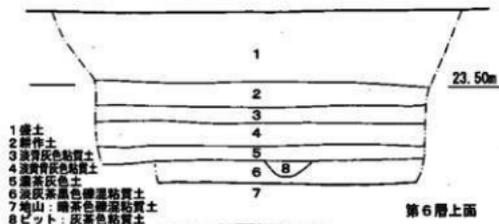
遺構は第6層上面でピット1基を検出した。直径0.40m、深さ0.12mを呈し、埋土は灰茶色粘質土である。遺物は土師質土器が出土した。中世期の遺構と思われる。

(3) 07-4区 (第27・31~33図)

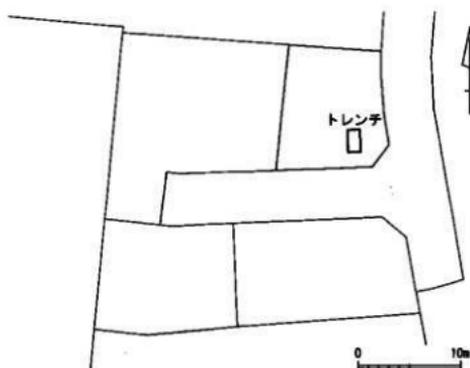
調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置し、2006年度から同じ開発地内での調査が行われており、中世期の遺物包含層と遺構が確認されている。また、この調査区は後述する07-5・9区と近接する。

調査は調査区内に2.2m×1.3mのトレンチを設定し行った。

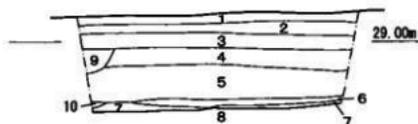
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰橙色土、第4層灰黄色土、第5層灰色土、第6層淡黄灰白色土、第7層暗茶色土、第8層マンガ混じりの暗灰黄色粘質土の地山である。遺物は第3~5層から須恵器、土師質土器、瓦器などが出



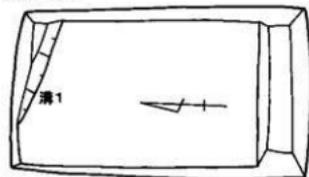
第30図 神光寺(蓮池)遺跡07-3区 トレンチ平面図・断面図



第31図 神光寺(蓮池)遺跡07-4区 トレンチ位置図

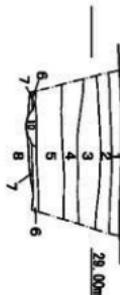
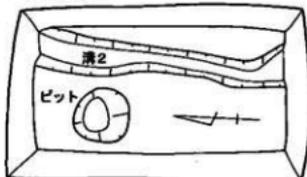


第4層上面

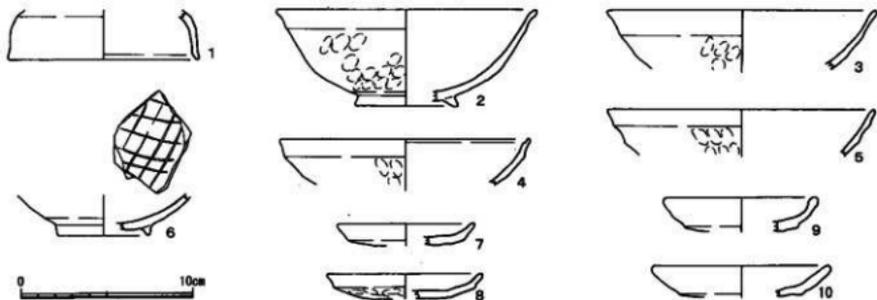


- | | |
|---------|---------------------|
| 1 盛土 | 6 淡黄灰白色土 |
| 2 耕作土 | 7 暗茶色土 |
| 3 淡灰橙色土 | 8 地山: 暗灰黄色粘質土(マンガ混) |
| 4 灰黄色土 | 9 溝1: 黄褐色粘質土混淡灰白色土 |
| 5 灰色土 | 10 溝2: 茶灰色土 |

第6層上面



第32図 神光寺(蓮池)遺跡07-4区 トレンチ平面図・断面図



第33図 神光寺(蓮池)遺跡07-4区 出土遺物

した。1は須恵器杯蓋、2～6は瓦器碗、7～10は土師質小皿である。全て第5層から出土した。

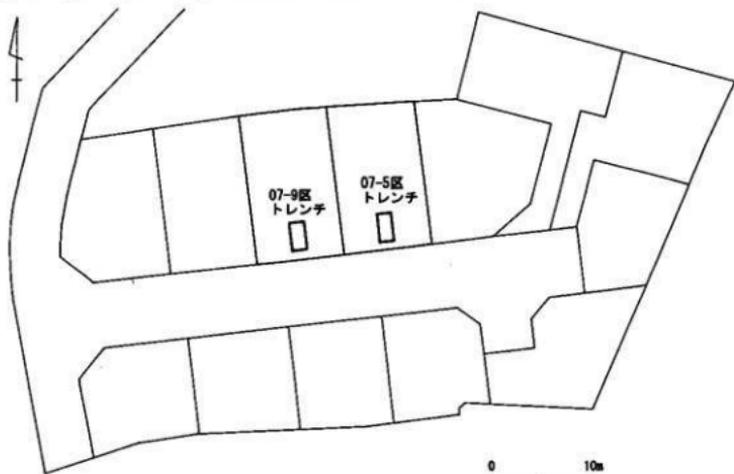
遺構は第4層上面で溝と思われる遺構の一部と第6層上面で南北方向の溝1条、ピット1基を検出した。溝1は長さ0.90m以上、幅0.20m以上、深さ0.20mを測り、埋土は黄褐色粘質土混淡灰色土である。遺物は出土しなかった。溝2は長さ2.00m以上、幅0.30m、深さ0.08mを測り、埋土は茶灰色土。ピットは直径0.40m、深さ0.10m、埋土はマンガン混じりの暗灰色土で、溝2とともに遺物は出土しなかった。

(4) 07-5区 (第27・34・35図)

調査区は神光寺(蓮池)遺跡の南東部に位置し、後述する07-9区と隣接する。

調査は調査区内に2.8m×1.5mのトレンチを設定し行った。

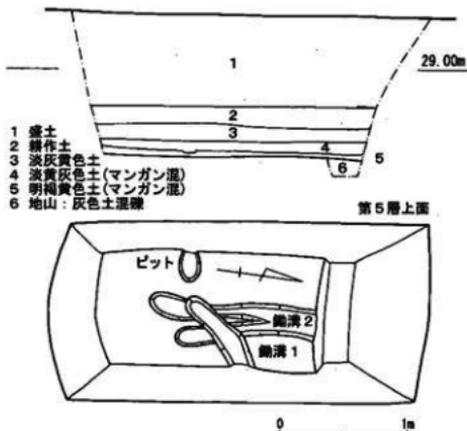
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰黄色土、第4層マンガン混じりの淡



第34図 神光寺(蓮池)遺跡07-5区・07-9区 トレンチ位置図

黄灰色土、第5層マンガンを混じりの明褐色土、第6層灰色土混雑の地山である。遺物は第3・5層から土師質土器、瓦器など中世期の遺物が出土したが、図示できるものはなかった。第5層からはその他にスサ入り焼土塊が出土している。

遺構は第5層上面で鋤溝を数条、ピット1基を検出した。鋤溝1の埋土は淡灰茶黄色土で南北方向の鋤溝2を切っている。鋤溝2の埋土はピットの埋土とともに第4層と同じである。いずれの遺構からも遺物は出土しなかったが、同じ開発地内の既往の調査から中世期の遺構と推定される。



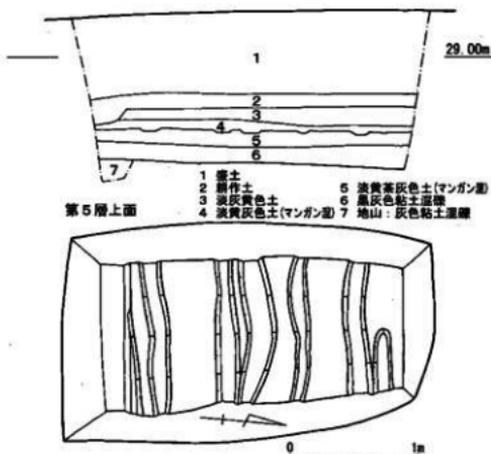
第35図 神光寺(蓮池)遺跡07-5区 トレンチ平面図・断面図

(5) 07-9区 (第27・34・36・37図)

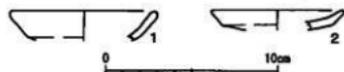
調査は調査区内に2.8m×1.5mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰黄色土、第4層マンガンを混じりの淡黄灰色土、第5層マンガンを混じりの淡黄茶灰色土、第6層黒灰色粘土混雑、第7層灰色粘土混雑の地山である。遺物は第3～6層から須恵器、土師器、土師質土器、瓦器などの遺物が出土した。1・2は土師質小皿で、1は第4層、2は第5層から出土した。同じ開発地区内の既往の調査により中世期の包含層である。

遺構は第5層上面で東西方向の鋤溝を7条検出した。埋土は第4層と同じで、遺物は土師質土器、瓦器が出土したが、図示できるものはなかった。



第36図 神光寺(蓮池)遺跡07-9区 トレンチ平面図・断面図



第37図 神光寺(蓮池)遺跡07-9区 出土遺物

第6節 井関遺跡

(1) 07-1区 (第38~40図)

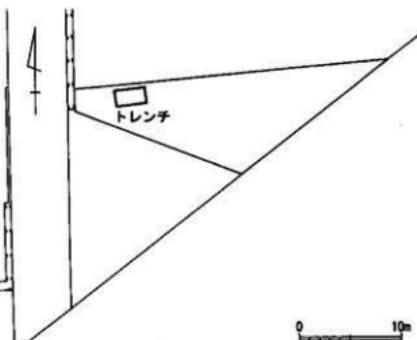
調査区は井関遺跡の西部に位置する。調査は3.0m×1.7mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰黄褐色シルト、第4層マンガン混じりの灰黄褐色粘質シルト、第5層灰黄褐色礫混粘質土の地山である。遺物は第4層からサヌカイト剥片が出土した。

遺構はいずれの面でも検出されなかった。



第38図 井関遺跡調査区位置図



第39図 井関遺跡07-1区 トレンチ位置図



- 1 盛土
- 2 耕作土
- 3 灰黄褐色シルト
- 4 灰黄褐色粘質シルト(マンガン混)
- 5 地山: 灰黄褐色礫混粘質土

第40図 井関遺跡07-1区 トレンチ北側断面図

第7節 自然田遺跡

(1) 06-8区 (第41~43図)

調査区は自然田遺跡の中央部に位置する。

調査は調査区内に2.3m×1.2mのトレンチを設定し行った。調査面積は2.76㎡である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層淡灰明茶色土、第4層暗茶色礫混粘質土の地山である。

遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。



第41図 自然田遺跡調査区位置図

(2) 07-1区

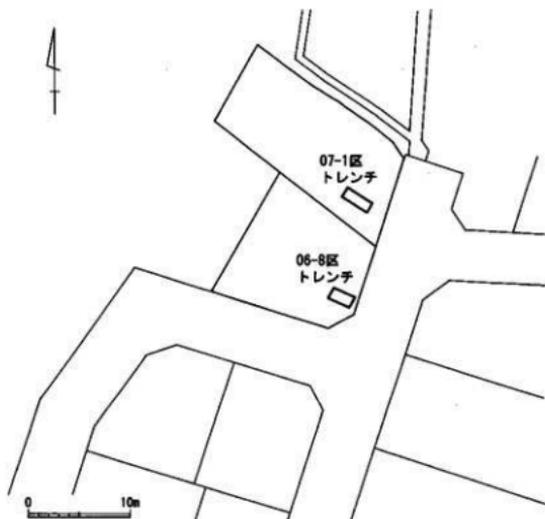
(第41・42・44・45図)

調査区は06-8区の北側に隣接する。調査は調査区内に3.0m×1.1mのトレンチを設定し行った。

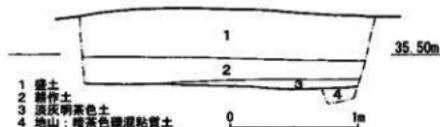
盛土、耕作土を除く基本層序は第3層淡灰明茶色土、第4層暗茶色礫混粘質土の地山である。

遺物は出土しなかった。

遺構は地山面で西方向の落ち込みを検出したが、前述の06-8区では淡茶橙色粘質土が存在しないため、この層も落ち込みの埋土の可能性が高い。遺物は淡茶橙色粘質土から土師質土器が1点、淡橙茶色粘質土から焼締陶器の壺体部片が1点出土した。1は淡茶橙色粘質土から出土した土師質土器皿で、いわゆる白土器である。また、落ち込

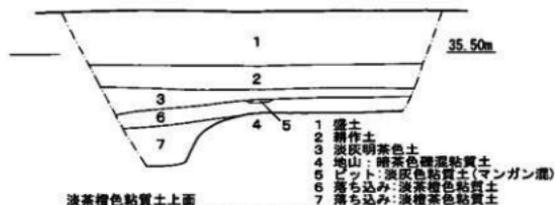


第42図 自然田遺跡06-8区・07-1区 トレンチ位置図

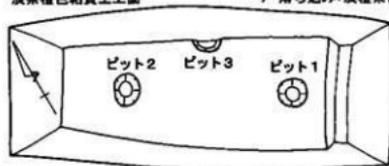


第43図 自然田遺跡06-8区 トレンチ南側断面図

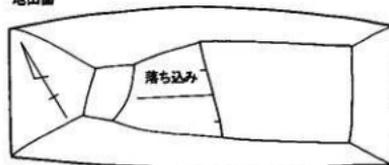
みの埋土である淡茶橙色粘質土上面でピット3基を検出した。いずれも直径0.23m、深さ0.02mで、埋土はマンガン混じりの淡灰色粘質土である。遺物は出土しなかった。



淡茶橙色粘質土上面

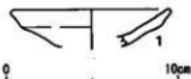


地山面

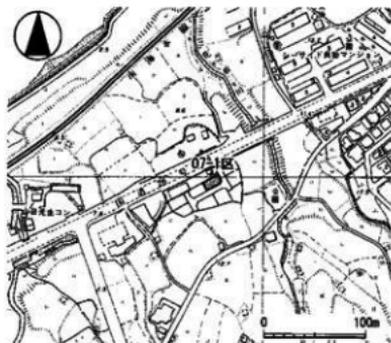


0 1m

第44図 自然田遺跡07-1区 トレンチ平面図・断面図



第45図 自然田遺跡07-1区 出土遺物



第46図 貝掛遺跡調査区位置図

第8節 貝掛遺跡

(1) 07-1区 (第46~49図)

調査区は本遺跡の北部に位置する。

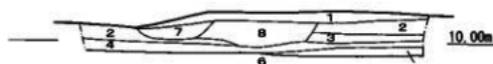
調査は調査区内に2.8m×1.5mのトレンチを設定し行った。

基本層序は第1層盛土、第2層淡黄灰色土、第3層淡茶灰色土、第4層黄茶灰色土、第5層暗黄灰色土、第6層マンガン混じりの淡褐黄色土の地山である。遺物は第2層から土師質土器、瓦器、瓦、第3層から須恵器、土師質土器、瓦器、第4層から須恵器、土師質土器が出土した。1は須恵器の杯身で第3層から出土した。

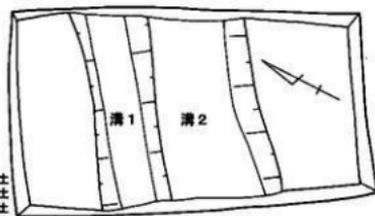
遺構は第2層上面で溝2条を検出した。溝1は幅0.50m、深さ0.10mで、埋土は暗灰黒色土。近年の耕作に伴う溝と思われる。遺物は出土しなかった。溝2は深さ0.20mで、溝1に切られているため幅は不明である。埋土は灰茶色砂質土で、遺物は土師質土器、サヌカイトが出土したが、図示できるものはなかった。



第47図 貝掛遺跡07-1区 トレンチ位置図



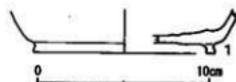
第2層上面



- 1 盛土
- 2 淡黄灰色土
- 3 淡茶灰色土
- 4 黄茶灰色土
- 5 暗黄灰色土
- 6 地山：淡褐黄色土(マンガン混)
- 7 溝1：暗灰黒色土
- 8 溝2：灰茶色砂質土



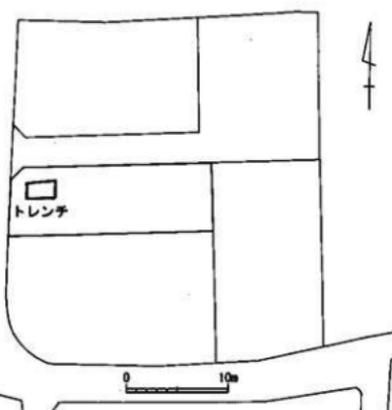
第48図 貝掛遺跡07-1区 トレンチ平面図・断面図



第49図 貝掛遺跡07-1区 出土遺物



第50図 箱作今池遺跡調査区位置図



第51図 箱作今池遺跡07-1区 トレンチ位置図

第9節 箱作今池遺跡

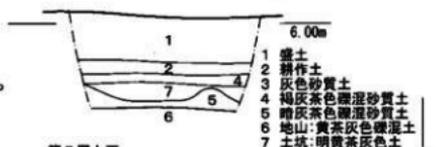
(1) 07-1区 (第50~52図)

調査区は箱作今池遺跡の西部に位置する。

調査は調査区内に2.8m×1.5mのトレンチを設定し行った。

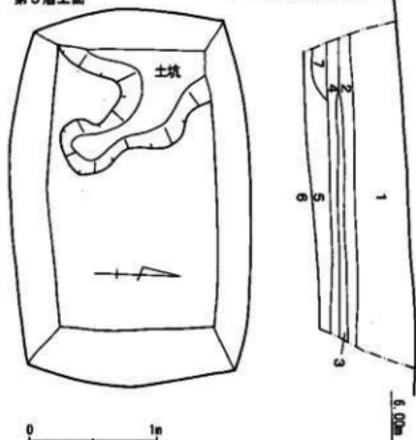
基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層灰色砂質土、第4層褐灰茶色礫混砂質土、第5層暗灰茶色礫混砂質土、第6層黄茶灰色礫混土の地山である。遺物は第2層から土師質土器、瓦が数点出土したのみである。

遺構は第5層上面で不定形の土坑を検出した。埋土は明黄茶灰色土で遺物は出土しなかった。



第5層上面

- 1 盛土
- 2 耕作土
- 3 灰色砂質土
- 4 褐灰茶色礫混砂質土
- 5 暗灰茶色礫混砂質土
- 6 地山：黄茶灰色礫混土
- 7 土坑：明黄茶灰色土



第52図 箱作今池遺跡07-1区 トレンチ平面図・断面図



第53図 箱作西遺跡調査区位置図

第10節 箱作西遺跡

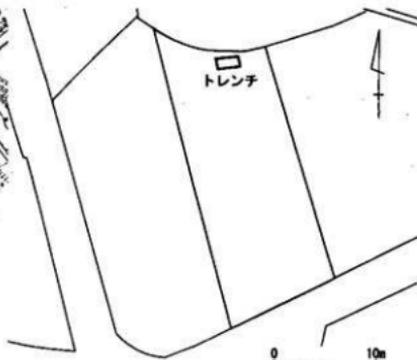
(1) 06-2区 (第53~56図)

調査区は箱作西遺跡の中央部に位置する。

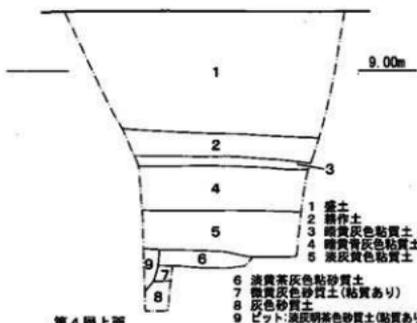
調査は調査区内に2.2m×1.0mのトレンチを設定し行った。調査面積は2.2㎡である。

基本層序は第1層盛土、第2層耕作土、第3層暗黄灰色粘質土、第4層暗黄青灰色粘質土、第5層淡灰黄色粘質土、第6層淡黄茶灰色粘砂質土、第7層粘質のある微黄灰色砂質土、第8層灰色砂質土である。事業による掘削の影響を受けない深度に達したため、これ以上の掘り下げは行っていない。遺物は第4層から土師質土器、瓦器、白磁、瓦、土錘、第5層より土師質土器が出土した。1~4は瓦器で、1・2は椀、3・4は小皿、5は土師質小皿、6は土師質管状土錘、7は白磁椀である。いずれも第4層から出土した。

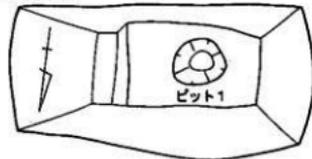
遺構は第4層上面と第6層上面でそれぞれピット1基を検出した。ピット1は平面ややいびつな卵形で、直径0.40m、深さ0.18mを測る。埋土は淡黒黄灰色粘質土で、遺物は出土しなかった。ピット2はトレンチ南東隅でその一部を検出した。深さ0.36mを測り、埋土は粘質のある淡灰明茶色砂質土で、遺物は出土しなかった。



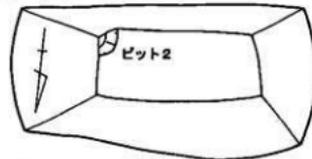
第54図 箱作西遺跡06-2区 トレンチ位置図



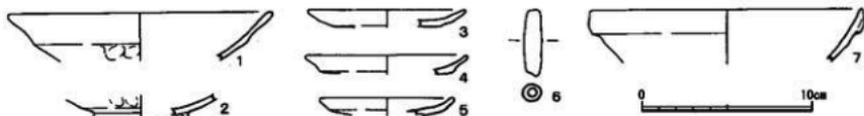
第4層上面



第6層上面



第55図 箱作西遺跡06-2区 トレンチ平面図・断面図



第56図 箱作西遺跡06-2区 出土遺物

第11節 田山遺跡

(1) 06-3区 (第57~61図)

調査区は田山遺跡の南東端部に位置する。調査区内に確認調査のトレンチを6ヶ所設定して遺構、遺物の有無の調査を実施した。その後、擁壁工事により影響を受ける部分について確認調査のトレンチを延長する形で調査を行った。トレンチの規模は、概ね幅が1m、長さは東側トレンチが約13m、北側トレンチが約57mである。

トレンチの長さが幅に比して長大であり、遺構の存在状況から、本報告書に掲載した図は調査の全体ではなく、確認調査のトレンチに留めた。以下、基本層序などについては第59図を参照されたい。図示していない遺構もあるが、検出した遺構はすべて記述した。

耕作土を除く基本層序は、第2層褐色土、第3層茶灰色土、第4層マンガ混じりの淡灰黄色土、第5層明黄灰色粘質土、第6層マンガ混じりの淡黄色土の地山である。4トレンチ付近では、第4層と地山の間に暗灰黄色礫混粘質土の堆積が見られた。

各トレンチの断面図のとおり、北側トレンチの東端部付近から東側トレンチでは第5層は見られず、東側では1から2トレンチの方向に、北側では2から6トレンチ方向に堆積が厚くなっており、旧地形は南東から北東方向に低くなっている。遺物は第2～5層から土師質土器、瓦器、青磁などが出土しており、いずれも中世期の包含層である。また、サヌカイト、須恵器、奈良時代の製塩土器なども出土しており、今回の調査では確認されなかったが、周辺の既往の調査より縄文時代～奈良時代の生活址の存在も想定される。

遺構は第2～6層それぞれの上面で検出された。その総数は溝22条、土坑3基、ピット16基、落ち込み1である。

遺構

一第2層上面一

溝101

4トレンチの西側で検出した南北方向の溝。長さ1.00m以上、幅0.30m、深さ0.12mを測り、埋土は暗灰色砂質土。遺物は土師質土器が出土した。近世期以降の溝である。



第57図 田山遺跡調査区位置図



第58図 田山遺跡06-3区・07-1区・07-2区 トレンチ位置図

溝102

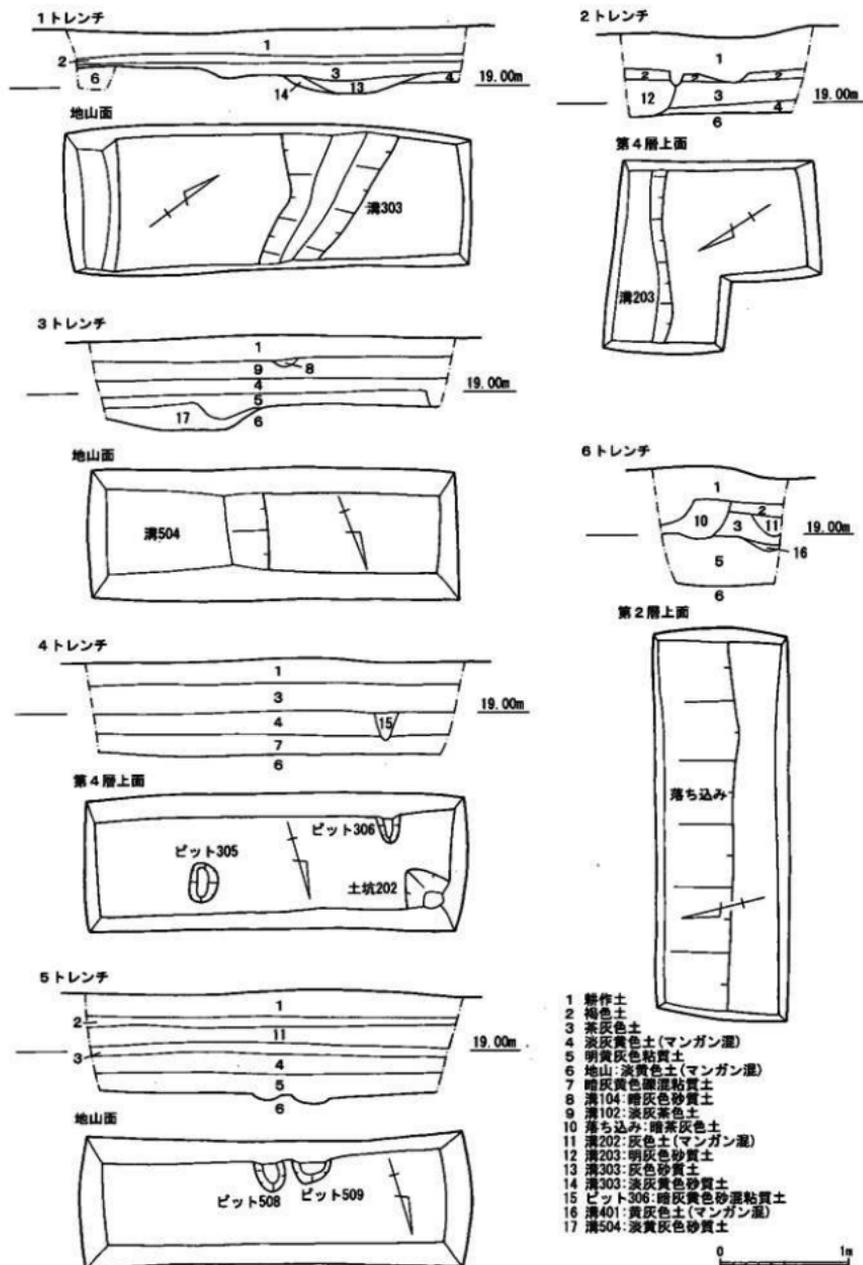
北側トレンチの中央部から東部で検出した東西方向の溝。長さ20.0m以上、幅0.50m以上、深さ約0.30m以上を測る。南側はトレンチ外。埋土は淡灰茶色土で、遺物は須恵器、土師器、土師質土器、瓦器などが出土した。近世期以降の溝である。

溝103

北側トレンチの東部で検出した南北方向の溝。長さ0.40m以上、幅0.20m、深さ0.10mを測る。北側はトレンチ外。埋土は暗灰色砂質土で、遺物は出土しなかった。

溝104

3トレンチで検出したトレンチを横断する南北方向の溝。長さ1.00m以上、最大幅0.36m、深さ0.05mである。埋土は暗灰色砂質土で、遺物は須恵器が出土したが、層序から近世期以降の溝である。



第59図 田山遺跡06-3区 トレンチ平面図・断面図

落ち込み

北側トレンチの東端以外で確認した。北方向に落ち込む。本調査区の北隣接地は、本調査区と比して一段下がっており、その関連と想定され、耕地形成時のなごりと思われる。埋土は第1層耕作土と暗茶灰色土で、遺物は須恵器、土師質蛸壺、磁器、板碑などが出土した。近世期以降の落ち込みである。

—第3層上面—

土坑201

北側トレンチのほぼ中央部で検出した。長径0.70m以上、短径0.58m、深さ0.30mを測り、北側はトレンチ外に広がる。埋土は淡茶灰色砂質土で、遺物は土師質土器、瓦器、土師質蛸壺などが出土した。中世期の遺構である。

土坑202

4トレンチ付近で検出した。第3層上面の精査時には検出できず、第4層上面で確認した。このため、図示した4トレンチの平面図では、第4層上面の遺構として表しているが、断面の観察から第3層上面の遺構であることが解る。検出面で長径1.60m以上、短径0.48以上、深さ0.30mを測る。埋土は暗黄灰茶色土で、遺物は図化した土師質土器の皿や瓦器、瓦などが出土した。中世期の遺構である。

溝201

北側トレンチの西部で検出した南北方向の溝で、長さ1.00m以上、幅0.10m、深さ0.10mを測る。埋土は明灰色砂質土で、遺物は土師質土器が出土した。埋没後に第2層が堆積していることから中世期の遺構と思われる。

溝202

北側トレンチの西部で検出した東西方向の溝で、長さ14.5m以上、幅0.30m以上、深さ0.18mを測る。南側はトレンチ外。埋土はマンガン混じりの灰色土で、遺物は土師質土器、瓦器などが出土した。中世期の遺構である。

溝203

北側トレンチの東部で検出しており、2トレンチで図示した。長さ8.70m以上、幅0.40m以上、深さ0.30mを測る。埋土は溝201と同じ明灰色砂質土で、遺物は図化した瓦質土器の羽釜、青磁碗、土師質蛸壺などが出土した。中世期の遺構である。

溝204・205

東側トレンチの1トレンチと2トレンチの間で検出したトレンチを横断する東西方向の溝。2条はほぼ平行している。それぞれ長さ1.00m以上、幅0.40～0.70m、深さ0.08mを測る。埋土は茶色砂質土で、遺物は土師質土器、瓦器が出土した。中世期の遺構である。

溝206

東側トレンチの南端部で検出した。トレンチを横断し、南東から北西方向に延びる。

長さ1.50m以上、最大幅1.50m、深さ0.06mである。遺物は出土していないが、埋土が溝201・203と同じ明灰色砂質土であるため、同時期中世期の遺構と思われる。

－第4層上面－

溝301

北側トレンチの中央部よりやや東で検出した東西方向の溝。長さ2.00m以上、幅0.10m以上、深さは0.10mである。北側はトレンチ外。埋土は暗灰黄色土で遺物は出土しなかったが、埋没後に第3層が堆積していることから、中世期の遺構である。

溝302

東側トレンチの中央部で検出した。トレンチを北西から南東方向に横断する。長さ1.00m以上、幅0.60m、深さ0.10mを測る。埋土は灰色砂質土で、遺物は瓦器が出土した。中世期の遺構である。

溝303

1トレンチで検出した東西方向の溝。長さ1.20m以上、最大幅0.92m、深さ0.12mを測る。埋土は上層が灰色砂質土、下層が淡灰黄色砂質土である。遺物は出土しなかった。埋没後に第3層が堆積しており、中世期の遺構である。

ピット301～304

北側トレンチの中央部から東部にかけて検出した。径は0.25～0.40m、深さ0.05～0.18m。埋土はピット301・303・304は第3層と同じ、ピット302は暗灰黄色土である。遺物はピット301・304から土師質土器が出土している。中世期の遺構である。

ピット305

4トレンチで検出した。直径は0.20m、深さ0.09mで、埋土は淡黄茶灰色砂質土である。遺物は出土しなかったが、中世期の遺構である。

ピット306

4トレンチで検出した。長径0.24m以上、短径0.08m、深さ0.22mを測り、埋土は暗灰黄色砂混粘質土。遺物は土師質土器が出土した。中世期の遺構である。

－第5層上面－

溝401

6トレンチ付近で検出した東西方向の溝。南側はトレンチ外に延びる。長さ5.60m以上、最大幅0.33m以上、深さ0.08mである。埋土はマンガン混じりの黄灰色土で、瓦器、瓦質土器が出土した。中世期の遺構である。

土坑401

北側トレンチの中央部で検出した。長径0.74m、短径0.35m以上、深さ0.19mを測る。第2層上面で検出した落ち込みに切られている。埋土は淡茶灰色粘質土で、遺物は土師質真蛸壺、瓦器などが出土している。中世期の遺構である。

ピット401

3トレンチで検出した。直径は0.16m以上、深さ0.13mを測る。埋土は第4層と同じで、遺物は土師質土器が出土した。中世期の遺構である。

—暗灰黄色礫混粘質土層上面—

前述のように、北側トレンチの中央部付近で第4層と地山の間に堆積している層の上面で検出した遺構である。

溝403・404・405

北側トレンチの中央部付近で検出した。トレンチを横断する3条がほぼ平行した南北方向の溝である。長さ1.00m以上、幅0.25～0.60m、深さ0.06～0.10mを測る。いずれも埋土は第5層と同じで、遺物は出土しなかったが、中世期の遺構である。

—地山面—

溝501

北側トレンチの西部で検出した東西方向の溝。長さ3.60m以上、幅0.45m以上、深さ0.10mを測る。南側はトレンチ外。埋土は第5層と同じである。遺物は出土していないが、中世期の遺構である。

溝502

北側トレンチの西部、溝501の東側で検出した東西方向の溝。長さ7.10m以上、幅0.50m以上、深さ0.08mを測り、溝501と同じく南側はトレンチ外である。埋土も溝501と同じであるため、同一遺構の可能性はある。遺物は製塩土器が出土した。中世期の遺構である。

溝503

北側トレンチの西部、溝502と平行するように検出した。長さ1.80m以上、幅0.25m以上、深さ0.06mを測り、北側はトレンチ外。埋土は第5層と同じで、遺物は出土しなかったが、中世期の遺構である。

溝504

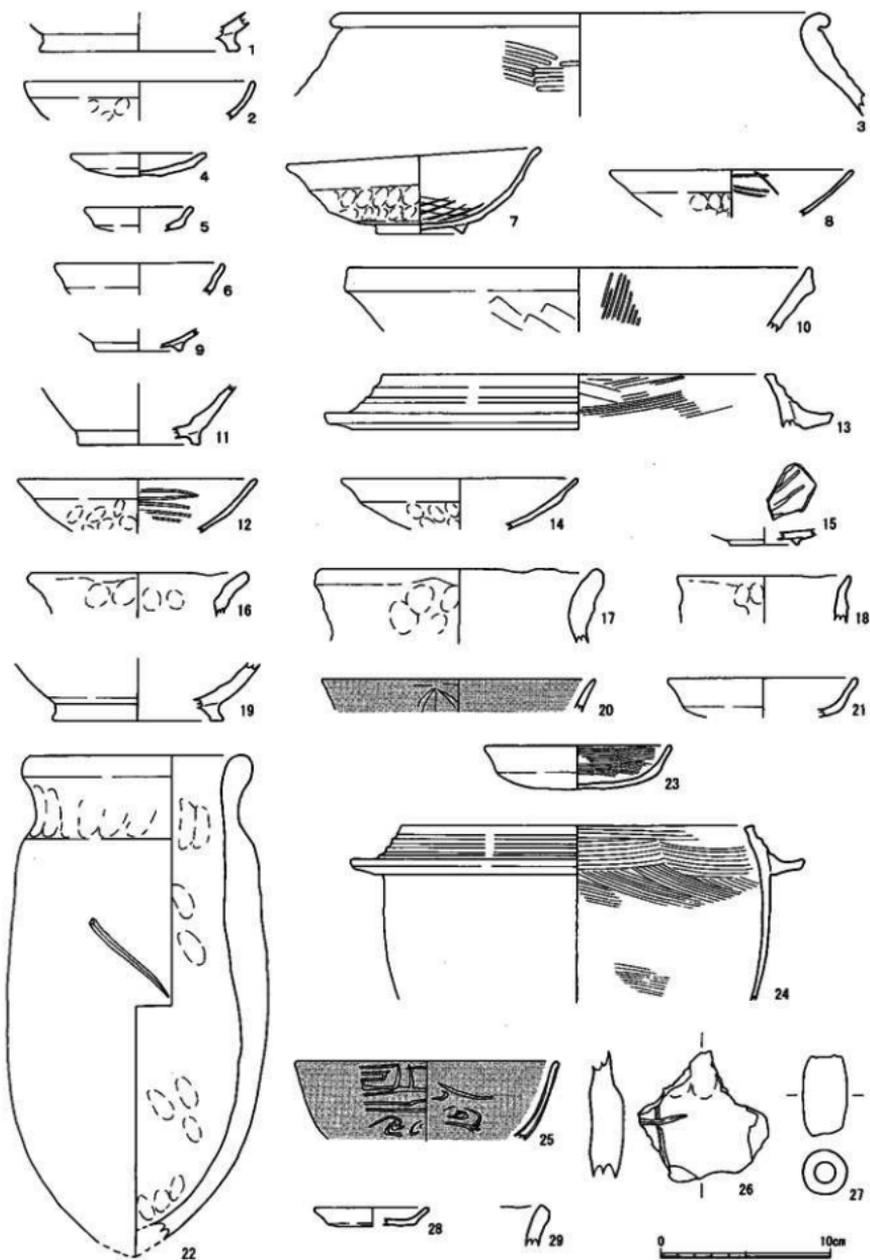
3トレンチで検出した南北方向の溝。図示したようにトレンチを横断する。3トレンチの拡張調査時に東側で、反対側の肩を検出した。長さ1.00m以上、幅2.76m、深さ0.20mを測る。埋土は上層が第5層と同じで、下層は淡黄灰色砂質土である。遺物は出土しなかったが、中世期の遺構である。

溝505

北側トレンチの東部で検出したトレンチを横断する南北方向の溝。長さ1.00m、最大幅0.36m、深さ0.03mを測る。埋土はマンガン混じりの暗茶灰色土で、遺物は出土しなかったが、中世期の遺構である。

ピット501～509

いずれのピットも北側トレンチで検出した。ピット508・509は、5トレンチで検出したた

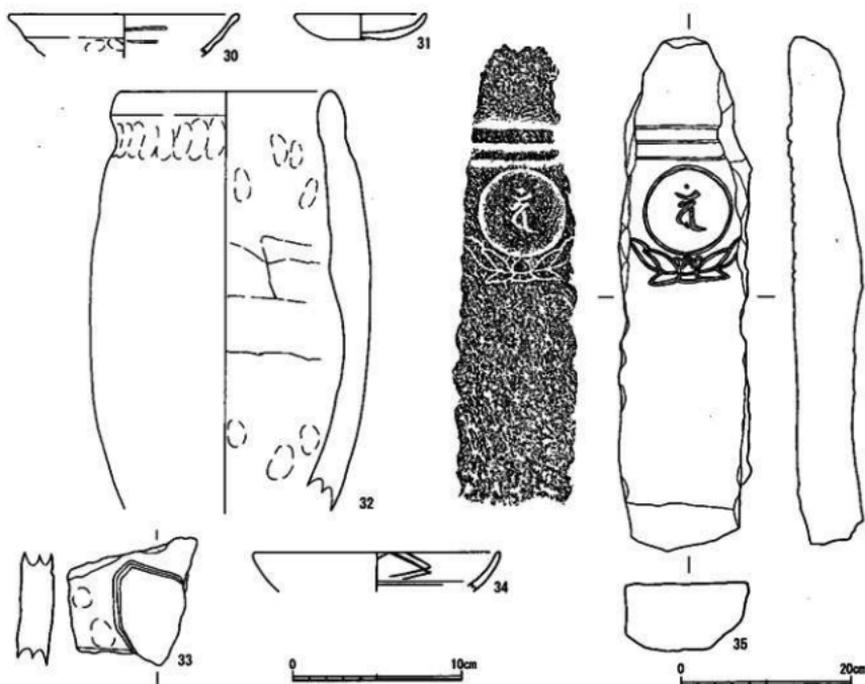


第60図 田山遺跡06-3区 出土遺物

め、図示した。径は0.20～0.40m、深さは0.04～0.13m。埋土はピット507がマンガン混じりの暗茶灰色土、それ以外は第5層と同じである。遺物はピット503から製塩土器が出土しているのみである。いずれも中世期の遺構であるが、ピット507以外のピットでは、若干の時期差があると考えられる。

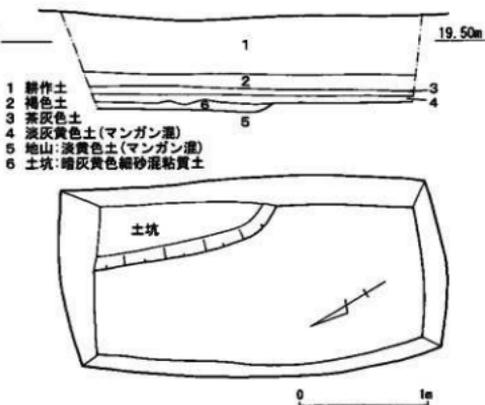
遺物

1は須恵器壺、2は瓦器碗、3は瓦質の甕で第2層からの出土である。4～6は土師質土器小皿で7～9は瓦器碗、10は瓦質播鉢で第3層から出土した。11は須恵器壺。12は瓦器碗、13は瓦質羽釜で第4層から出土した。14・15は瓦器碗、16～18は製塩土器で第5層から出土した。19は須恵器壺、20は蓮弁が施された青磁碗で暗灰黄色礫混粘質土から出土した。21は土師質土器皿で土坑202から出土した。22は土師質真蛸壺で土坑401から出土した。23は土師器皿で溝102から出土した。24は瓦質土器羽釜、25は口縁部外面に雷文が施されている青磁碗。26はヘラ記号のある土師質真蛸壺。27は土師質管状土鏝である。28は瓦器小皿で、溝204から出土した。29は溝502から出土した製塩土器である。溝203から出土した。30は瓦器碗。31は土師質土器小皿。32・33は土師質真蛸壺。33にはヘラ記号が



第61図 田山遺跡06-3区 出土遺物

見られる。34は肥前系染付けの磁器皿。35は和泉砂岩製の板碑で、頭頂部、基部、側面ともに欠損しているが、上部に二条線、その下に円形に刻みを入れ、下に蓮弁を配し、中に種子を刻んでおり、種子はパン(大日如来)である。表面は比較的風化していない。当地域における中世期後半の典型的な板碑である。類似した板碑としては、本市と隣接している岬町淡輪の医王寺跡に応永八年(1401年)と同九年の板碑が見られる。30~35は落ち込みから出土した。

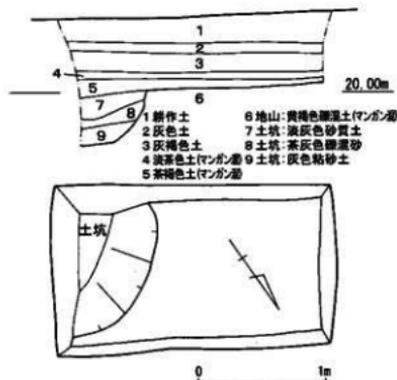


第62図 田山遺跡07-1区 トレンチ平面図・断面図

(2) 07-1区 (第57・58・62図)

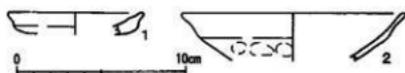
調査区は前述の06-3区と同敷地内である。

調査は3.0m×1.5mのトレンチを設定して実施した。基本層序は06-3区の東側トレンチと同じで、第1層耕作土、第2層褐色土、第3層茶灰色土、第4層マンガン混じりの淡灰黄色土、第5層マンガン混じりの淡黄色土の地山である。遺物は第2~4層から土師質土器、須恵器、瓦器などが出土した。中世期の包含層である。



第63図 田山遺跡07-2区 トレンチ南側断面図

遺構は第3層上面と第4層上面でそれぞれ鋤溝を数条検出し、遺物は土師質土器が出土した。地山面で土坑を1基検出した。土坑は長径1.50m以上、短径0.60m以上、深さ0.03mを測る。埋土は暗灰黄色細砂混粘質土で、遺物は出土しなかった。中世期の遺構である。



第64図 田山遺跡07-2区 出土遺物

(3) 07-2区 (第57・58・63・64図)

調査区は田山遺跡の南東端部に位置する。調査区内に1.2m×2.2mのトレンチを設定し調査を実施した。

耕作土以下の基本層序は第2層灰色土、第3層灰褐色土、第4層マンガン混じりの淡茶色土、第5層マンガン混じりの茶褐色土、第6層マンガン混じりの黄褐色礫混土の地山で

ある。遺物は第2～4層から土師質土器、須恵器、瓦器などが出土した。中世期の包含層と思われる。1は土師質土器小皿で第3層から、2は瓦器碗で第4層から出土した。

遺構は地山面で土坑を1基検出した。長径1.20m以上、短径0.60m以上、深さ0.40mを測る。埋土は上から淡灰色砂質土、茶灰色礫混砂、灰色粘砂土である。遺物は出土しなかったが、第4層が中世期の包含層であり、遺構の上に第5層が堆積していることから、中世期若しくはそれ以前の遺構と思われる。

報告書抄録

ふりがな	はんなんししまいぞうぶんかざいはつかつちょうさがいう							
書名	阪南市埋蔵文化財発掘調査概要 XXV							
副書名								
巻次								
シリーズ名	阪南市埋蔵文化財報告							
シリーズ番号	42							
編著者名	三好義三・田中早苗・上野 仁・横澤 慈・田之上裕子							
編集機関	阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課							
所在地	〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678							
発行年月日	2008年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村番号	遺跡番号					
おぎきしみず 尾崎清水	はんなんしおぎきちよう 阪南市尾崎町	27232	68	34 21 47	135 14 38	20070730~0801	5.00	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 05	135 15 18	20070419~0424	3.00	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 04	135 15 20	20070419~0424	3.10	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 05	135 15 18	20070614-0615	3.75	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 05	135 15 18	20070727~0801	3.36	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 05	135 15 18	20071012~1017	4.25	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 05	135 15 18	20071012~1017	4.86	個人住宅
むかいで 向かい出	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	43	34 21 02	135 15 21	20071022-1023	3.60	個人住宅
なみで 波有手	はんなんしとっとり 阪南市鳥取	27232	69	34 21 24	135 14 54	20070905-0906	2.88	個人住宅
とつとりみなみ 鳥取南	はんなんしとっとり 阪南市鳥取	27232	55	34 21 29	135 13 59	20070502~0507	4.50	個人住宅
じんこうじ(はすいけ) 神光寺(蓮池)	はんなんししだ 阪南市石田	27232	20	34 20 47	135 14 47	20070515-0516	3.75	個人住宅
じんこうじ(はすいけ) 神光寺(蓮池)	はんなんししだ 阪南市石田	27232	20	34 20 47	135 14 47	20070710-0711	5.40	個人住宅
じんこうじ(はすいけ) 神光寺(蓮池)	はんなんししだ 阪南市石田	27232	20	34 20 48	135 14 22	20070802-0803	2.86	個人住宅
じんこうじ(はすいけ) 神光寺(蓮池)	はんなんししだ 阪南市石田	27232	20	34 20 47	135 14 47	20070810~0813	4.20	個人住宅
じんこうじ(はすいけ) 神光寺(蓮池)	はんなんししだ 阪南市石田	27232	20	34 20 47	135 14 47	20071204-1205	4.20	個人住宅
いせ 井関	はんなんししだ 阪南市石田	27232	34	34 20 47	135 14 47	20070517-0518	5.10	個人住宅
じねんだ 自然田	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	35	34 20 43	135 15 18	20070221-0222	2.76	個人住宅
じねんだ 自然田	はんなんしじねんだ 阪南市自然田	27232	35	34 20 43	135 15 18	20070529-0530	3.30	個人住宅
かいかけ 貝掛	はんなんししちかけ 阪南市貝掛	27232	19	34 20 39	135 13 17	20070409-0410	4.20	個人住宅
はこつくりいまいけ 箱作今池	はんなんしほこつくり 阪南市箱作	27232	24	34 20 29	135 12 35	20070807-0808	4.20	個人住宅
はこつくりにし 箱作西	はんなんしほこつくり 阪南市箱作	27232	63	34 20 22	135 12 34	20070111-0112	2.20	個人住宅
たやま山 田や山	はんなんしほこつくり 阪南市箱作	27232	22	34 20 22	135 12 34	20070312~0330	65.00	個人住宅
たやま山 田や山	はんなんしほこつくり 阪南市箱作	27232	22	34 20 22	135 12 34	20070510-0511	4.50	個人住宅
たやま山 田や山	はんなんしほこつくり 阪南市箱作	27232	22	34 20 22	135 12 34	20070607-0608	2.60	個人住宅

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
尾崎清水	散布地	不明	土坑	陶器、磁器	
向出	散布地	中世期	土坑	須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦器、瓦質土器、青磁、陶器、瓦、蛸壺、片岩	
向出	散布地	中世期	溝	サヌカイト、弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、瓦質土器、製塩土器、焼土塊	
向出	散布地	中世期	土坑、ビット	須恵器、黒色土器、土師質土器、瓦質土器	
向出	散布地	中世期		サヌカイト、縄文土器、須恵器、土師器、黒色土器、土師質土器、瓦器、製塩土器、土鏝、焼土塊	
向出	散布地	中世期		サヌカイト、弥生土器、須恵器、土師器、黒色土器、土師質土器、陶器、磁器、瓦	
向出	散布地	中世期		サヌカイト、石鏝、須恵器、土師器、瓦質土器	
向出	散布地	不明		土師質土器、磁器	
波有手	散布地	不明			
鳥取南	散布地	中世期	溝、ビット	須恵器、土師器、黒色土器、土師質土器、製塩土器、土鏝、焼土塊	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期		土師質土器、瓦質土器	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期		土師質土器、須恵質土器、黒色土器、瓦器、蛸壺、焼土塊	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	溝、ビット	サヌカイト、須恵器、土師質土器、瓦器、瓦質土器、焼土塊、片岩	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	鋤溝、ビット	須恵器、土師質土器、瓦器、焼土塊	
神光寺(蓮池)	散布地	中世期	鋤溝	須恵器、土師器、黒色土器、瓦器、瓦質土器、製塩土器	
井関	散布地	不明		サヌカイト、須恵器、土師質土器	
自然田	散布地	不明			
自然田	散布地	不明	ビット、落ち込み	土師質土器、陶器	
貝掛	散布地	中世期	溝	サヌカイト、須恵器、土師質土器、瓦器、蛸壺、焼土塊	
箱作今池	散布地	不明	土坑	土師質土器、瓦	
箱作西	散布地	不明	ビット	土師質土器、瓦器、瓦質土器、蛸壺、土鏝、瓦	
田山	散布地	中世期		須恵器、土師質土器、瓦器、陶器、蛸壺、製塩土器、瓦、石碑、焼土塊	
田山	散布地	中世期	溝	サヌカイト、須恵器、土師質土器、瓦器、蛸壺	
田山	散布地	中世期		須恵器、土師質土器、瓦器、瓦質土器、蛸壺	



尾崎清水遺跡07-1区
トレンチ全景(西より)



向出遺跡07-2区
トレンチ全景(西より)



向出遺跡07-3区
トレンチ全景(西より)



向出遺跡07-5区
トレンチ全景(東より)



向出遺跡07-6区
トレンチ全景(東より)



向出遺跡07-7区
トレンチ全景(北より)



向出遺跡07-8区
トレンチ全景(西より)



向出遺跡07-9区
トレンチ全景(西より)



波有手遺跡07-1区
トレンチ全景(北より)



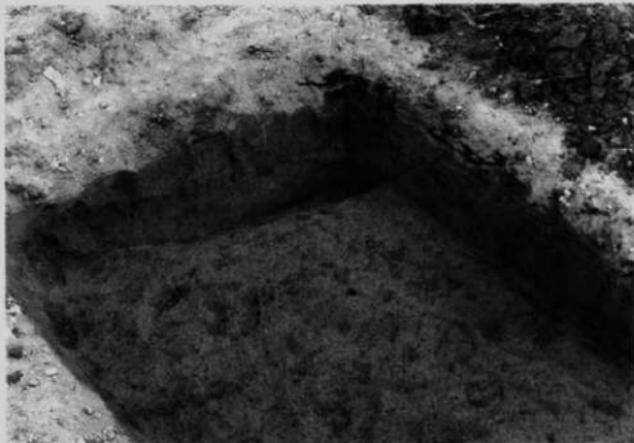
鳥取南遺跡07-1区
トレンチ全景(南より)



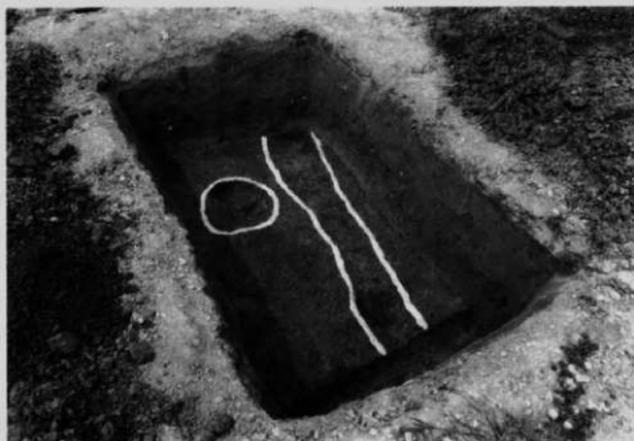
神光寺(蓮池)遺跡07-2区
トレンチ全景(北より)



神光寺(蓮池)遺跡07-3区
トレンチ全景(西より)



神光寺(蓮池)遺跡07-4区
溝1(南より)



神光寺(蓮池)遺跡07-4区
ピット、溝2(南より)



神光寺(蓮池)遺跡07-5区
トレンチ全景(南より)



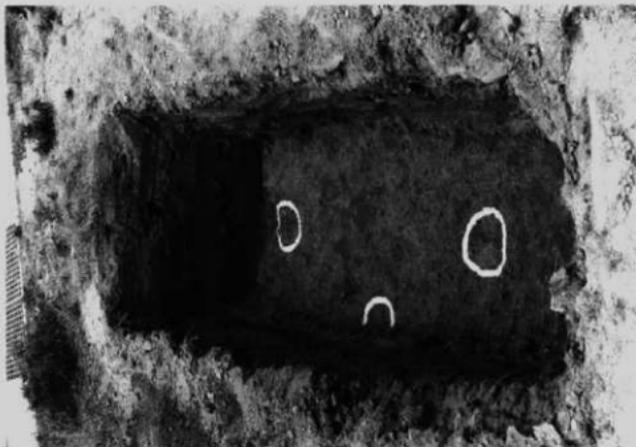
神光寺(蓮池)遺跡07-9区
トレンチ全景(南より)



井関遺跡07-1区
トレンチ全景(西より)



自然田遺跡06-8区
トレンチ全景(西より)



自然田遺跡07-1区
ピット1～3(西より)



自然田遺跡07-1区
落ち込み(西より)



貝掛遺跡07-1区
トレンチ全景(南より)



箱作今池遺跡07-1区
トレンチ全景(東より)



箱作西遺跡06-2区
ビット1(東より)



箱作西遺跡06-2区
ビット2(西より)

田山遺跡06-3区
1 トレンチ全景(北より)



田山遺跡06-3区
2 トレンチ全景(西より)



田山遺跡06-3区
3 トレンチ全景(西より)





田山遺跡06-3区
4 トレンチ全景(東より)



田山遺跡06-3区
5 トレンチ全景(東より)



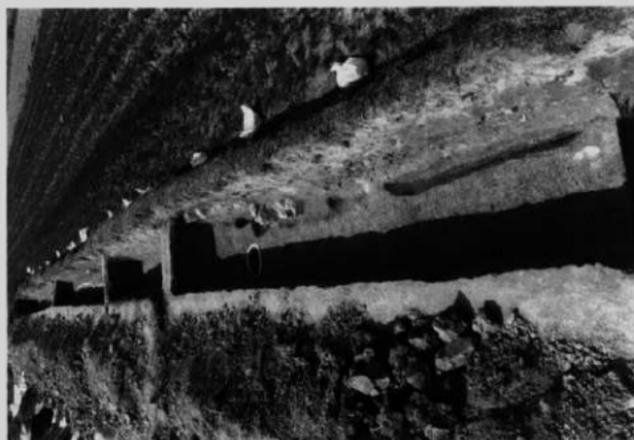
田山遺跡06-3区
6 トレンチ全景(西より)



田山遺跡06-3区
北側トレンチ西端付近(東より)



田山遺跡06-3区
北側トレンチ西部(東より)



田山遺跡06-3区
北側トレンチ西部・中央部(東より)



田山遺跡06-3区
北側トレンチ西部・中央部(西より)



田山遺跡06-3区
北側トレンチ中央部(東より)



田山遺跡06-3区
東側トレンチ(南より)



田山遺跡07-1区
トレンチ全景(北より)



田山遺跡07-1区
トレンチ東側断面



田山遺跡07-2区
トレンチ全景(西より)



向出遺跡07-2区 出土遺物



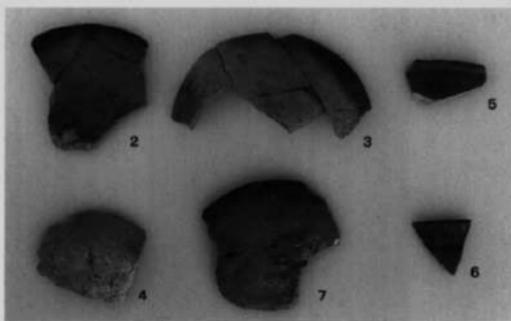
向出遺跡07-2区 出土遺物



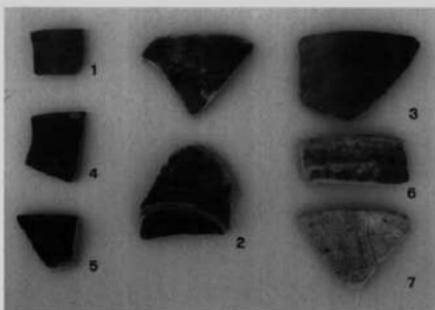
向出遺跡07-2区 出土遺物



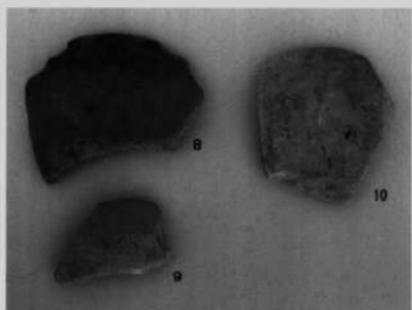
向出遺跡07-2区 出土遺物



向出遺跡07-2区 出土遺物



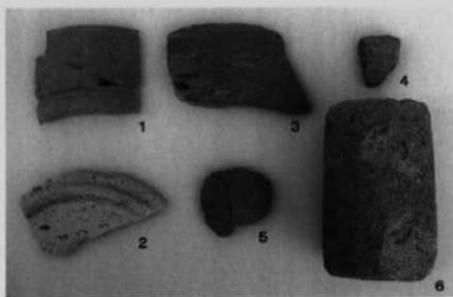
向出遺跡07-3区 出土遺物



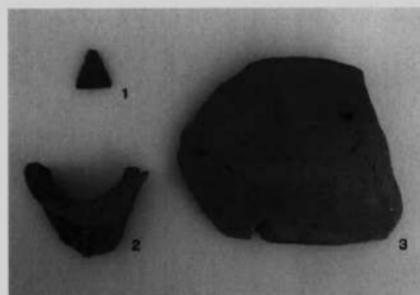
向出遺跡07-3区 出土遺物



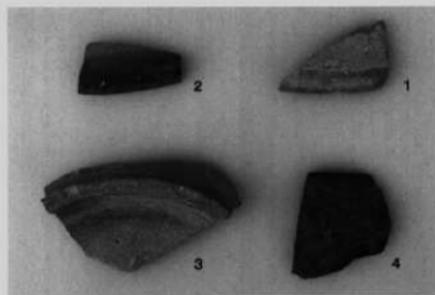
向出遺跡07-3区 出土遺物



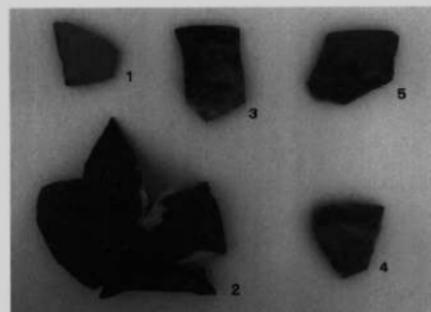
向出遺跡07-6区 出土遺物



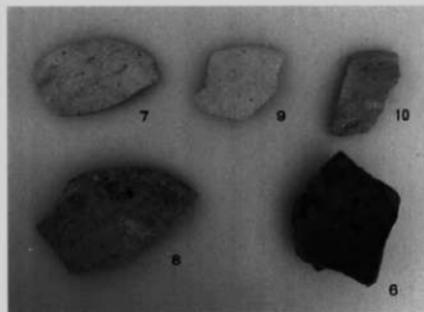
向出遺跡07-8区 出土遺物



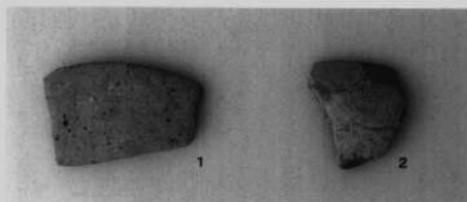
鳥取南遺跡07-1区 出土遺物



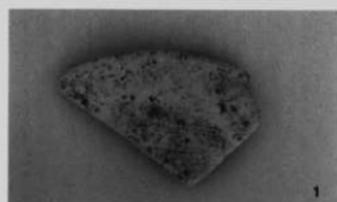
神光寺(蓮池)遺跡07-4区 出土遺物



神光寺(蓮池)遺跡07-4区 出土遺物



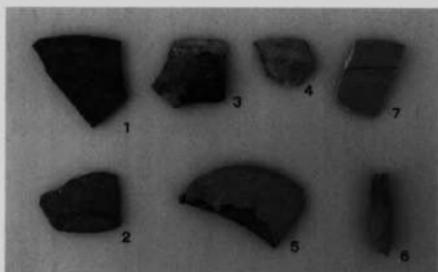
神光寺(蓮池)遺跡07-9区 出土遺物



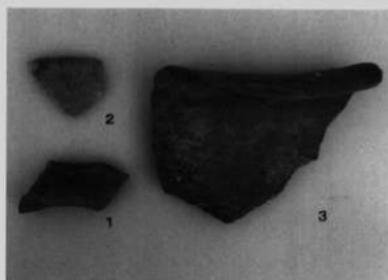
自然田遺跡07-1区 出土遺物



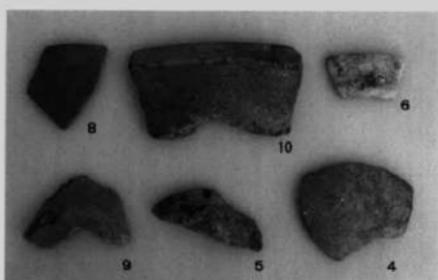
貝掛遺跡07-1区 出土遺物



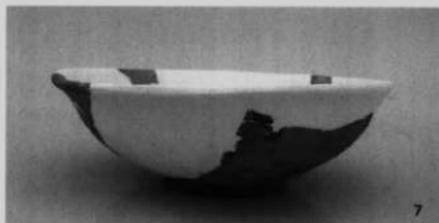
箱作西遺跡06-2区 出土遺物



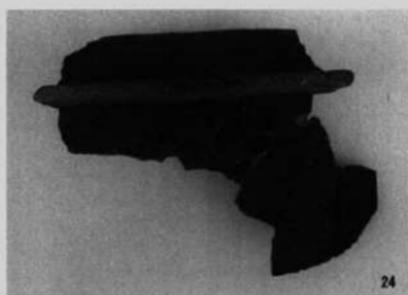
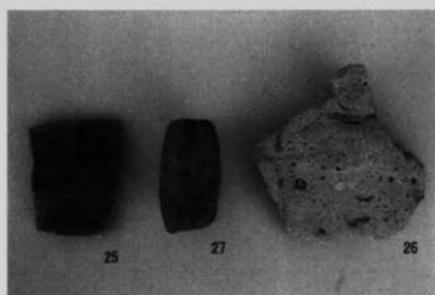
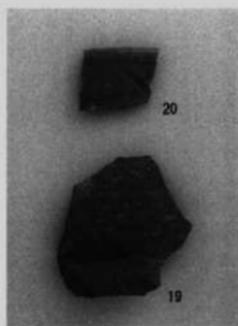
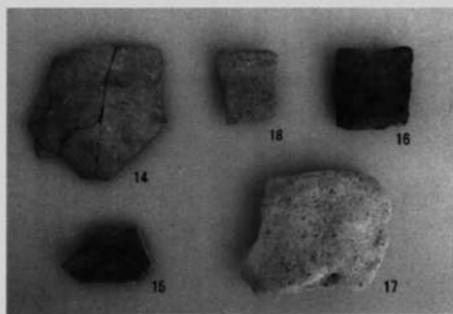
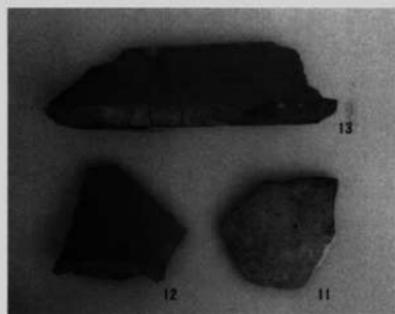
田山遺跡06-3区 出土遺物



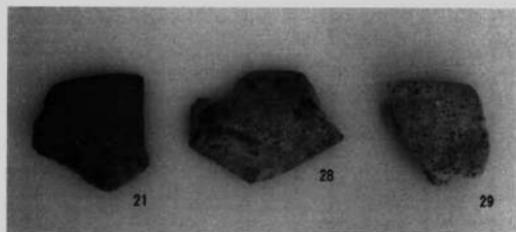
田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡06-3区 出土遺物



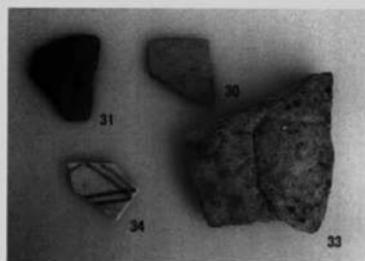
田山遺跡06-3区 出土遺物



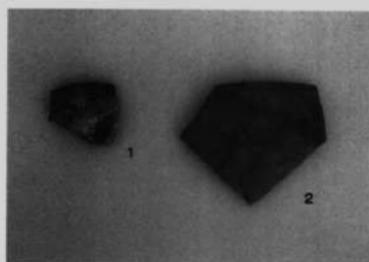
田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡06-3区 出土遺物



田山遺跡07-2区 出土遺物

阪南市埋蔵文化財報告 42

阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XXV

2008年3月

発行：阪南市教育委員会生涯学習部
生涯学習推進課
大阪府阪南市尾崎町35の1
印刷者：三和印刷株式会社